

平成25年度

とよしん食農セミナー

テーマ 儲かる農業に向けた新たな動き

農業従事者の高齢化・後継者不足・耕作放棄地の拡大・輸入農作物の増加など、多くの問題を抱えている日本の農業……。今回の「とよしん食農セミナー」では、これらの問題を乗り越える「新たな農業の動き」について紹介します。



平成25年7月10日(水)

14:00~16:15

参加費 無料

会場 豊橋信用金庫 本店 2階大会議室

●申込期限 平成25年6月26日(水)

●お問い合わせ・お申し込み先
豊橋信用金庫 本支店または事業支援部まで
TEL (0532)57-7033 FAX (0532)57-7120

講演内容

第一部 14:05~15:05

テーマ:「農業が抱える問題と新たな動き」

講師: 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター 特任教授 三枝正彦 氏

第二部 15:15~16:15

テーマ:「楽しく儲かる農業へシフト! 生産現場と加工・販売業者をつなぐ『ベジプロバイダー』」

講師: 株式会社エムスクエア・ラボ 代表取締役 加藤百合子 氏

必要事項をご記入の上、お申し込みください。FAXでも承ります。

とよしん食農セミナー参加申込書

貴社名		業種	
ご住所			
お電話番号		来場方法	自動車 ・ 自転車 ・ その他
参加者名		役職	
参加者名		役職	
参加者名		役職	

<個人・企業情報の取り扱いについて>

本セミナーご応募の際にお預かりする個人情報は、お問い合わせに対する回答といった連絡やセミナーの内容に応じた関連する情報提供などに利用します。お預かりした情報については、法令に基づく開示請求があった場合、本人の同意があった場合、その他特別の理由のある場合を除き、第三者には提供いたしません。ご提供いただいた個人情報を正確に取扱うよう努めます。

[取次店名: 豊橋信用金庫 本店] 店

講師紹介

農商工観連携に期待を寄せて・・・

三枝 正彦（さいぐさ まさひこ）氏

国立大学法人 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター 特任教授
第22期 日本学術会議連携会員



農業は圃場という生産環境が不安定故に収穫時期、生産量、品質が不安定で腐りやすいこともあってビジネスとしての効率が悪いとされています。しかし逆に考えれば、不安定故に工夫次第ではビジネスのシーズが多数存在することでもあります。

三枝教授は、農業をビジネスとして成立させるためのひとつの方法として、農商工連携を掲げ、第一次産業である農業を流通・販売・加工までを含めた第6次産業として発展させるべく、東三河地域を中心に全国各地で講演等をされています。

東三河地域は日本一の農業生産地であり、またトヨタをはじめとする“ものづくり”の盛んな地域であり、観光資源を加えた農商工観連携が最も進展する地域です。

今回のセミナーでは、40年に亘る東北大学附属農場のフィールド栽培の経験とそこから起案した町おこしの経験、そして、現在所属する工学系の豊橋技術科学大学の人材を活かして多面的な側面から「東三河」「愛知」「三遠南信」「日本各地」へと地域おこしを進めておられる三枝教授から見た「農業の抱える問題と新たな動き」についてご講演いただきます。

農業を、楽しくて儲かる産業にしたい・・・

加藤 百合子（かとう ゆりこ）氏

株式会社エムスクエア・ラボ 代表取締役
静岡県 食と農を支える豊かな暮らしづくり審議会 委員、静岡県 新成長戦略研究評価会 委員
菊川市茶業振興計画策定委員、農林水産省任命 ボランティアプランナー



加藤氏は、東京大学農学部を卒業後、英国クランフィールド大学で修士号を取得し、米国NASAのプロジェクトに参画、宇宙ステーションに載せる植物生産機器の開発の一部に携わられていました。帰国後、子育てをしながら農業の大切さを実感したことから、平成19年に株式会社エムスクエア・ラボ（静岡県菊川市）を設立し、日本の農業ビジネスを支援しておられます。

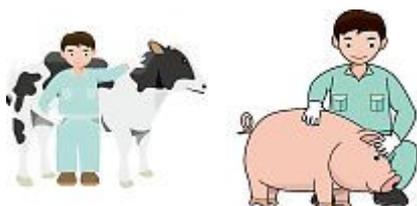
同社は、農業者の営業代行として東京の百貨店に“こだわり”の野菜を売り込みに行ったり、加工・販売業者の生産現場管理を代行するなど、両者をつなぐ事業“ベジプロバイダー”を開発し、昨年、日本政策投資銀行の「第1回 女性新ビジネスプランコンペティション」女性起業家大賞を受賞されました。同社の先進的な取り組みは、「ワールドビジネスサテライト」「クローズアップ現代」「夢の扉+」など多数のメディアでも取り上げられ、現在は、フジテレビ「とくダネ！」第2月曜日のコメンテーターも務められています。

今回のセミナーでは、ご自身の経験や自社の取り組みをもとに、“楽しくて儲かる農業”についてご講演いただきます。

【農業産出額の上位都道府県】

愛知県は、自動車や機械などの製造業が盛んで、製造品出荷額は昭和52年以降、全国第1位です。

一方、農業産出額も全国第6位と全国有数の農業県でもあり、農業と工業がバランスよく発展してきました。



順位	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
1	北海道	北海道	北海道	北海道	北海道	北海道
2	鹿児島	鹿児島	千葉	茨城	茨城	茨城
3	茨城	千葉	茨城	千葉	千葉	千葉
4	千葉	茨城	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島
5	愛知	宮崎	愛知	宮崎	宮崎	熊本
6	宮崎	愛知	宮崎	愛知	熊本	愛知
7	熊本	熊本	熊本	熊本	愛知	宮崎
8	新潟	新潟	青森	青森	青森	青森
9	青森	青森	新潟	新潟	栃木	新潟
10	栃木	栃木	栃木	栃木	新潟	栃木

※出所:「よくわかる あいちの農業」2012年度版